

お地蔵さんを訪ねて

小阪中学校区①

今回は小阪中学校区のお地蔵さんを2回に分けて紹介いたします。

「小坂」は天正年間(豊臣政権の頃)に西堤村から移住して集落ができたことから始まりまし。当初の地名は「北小路」を賜ったそうですが、「上小坂」「中下小坂」「宝持」などの集落が成立して大和川流域の開発が進み、1665年(寛文5)に「下小坂」と改められました。地図上で北側にあると感覚的に「上」と考えますが、この辺りの地では大和川の上流が南側になるので、南から北に向かって「上小坂」「中下小坂」「下小坂」と名付けられたようです。漢字の表記も「坂」だと「土に反る」(火災に遭って土になる)という意味があるので忌み嫌われ、人が集まる場所の意味がある「ごさか」とへん(β)が使われるようになり「ごさか」と呼ぶようになりまし。小阪駅を起点に地蔵尊を訪ねてみます。



まず小阪駅前にある①見守地蔵尊です。1952年(昭和27)、当時の小阪駅西踏切にてサイドカー付きオートバイの踏切事故で殉死した警察官を悼み、有志で地蔵尊を建立されたそうです。駅の東側の⑤身守東地蔵尊も同様に踏切事故の犠牲者を悼んで設置されています。近鉄奈良線の布施八戸ノ里間が高架化されて半世紀近く経ちますが、今も過去の願いが形として残っていました。地蔵尊ではありませんが、見守地蔵尊のすぐ横に「平和を祈る乙女像」があります。広島に原爆が投下されたその日に小阪駅前も空襲を受け、当時密集していた家屋のうち123戸が全焼したそうです。その体験を後世に伝えるために篤志家が像を建て、現在も平和を祈念して千羽鶴が飾られています。



平和を祈る乙女像



①見守地蔵尊



南側駅前広場から南東に向かう路地沿いの洞源庵(曹洞宗寺院)一角に②子安延命地蔵尊があります。昭和初期に浪速区湊町から地蔵堂を移築しました。空襲でも奇跡的に被害を受けず、そのまま地蔵堂は残りました。地蔵堂の天井に描かれた様々な花の絵が印象的です。もう少し路地を進むと③出世地蔵尊があります。額の書体が崩し字で読めなかつたため洞源庵の住職に読み方を伺いました。うっすらと化粧されている地藏石仏です。道頓堀に同様の名前の地蔵尊があり、芸事や立身出世のご利益があるとのことなので、この地蔵尊もそのような願いが込められていたのでしょうか。さらに南東に進むと車が両側通行できる道路に入り、東へ進むと広い道路に入ります。その道路を北側に進んで少し左に入ったところに、④なかよし地蔵尊があります。元々は現在の場所の東側にあったのですが、戦時中に建物の延焼を防ぐため、問答無用で家屋が取り壊され、疎開道路が設置されて遷されたそうです。地蔵尊の詳しい由来は不明です。この広い道路の北端と南端の距離は250m程度で以南、以北とも同じ幅の道路は続いています。5年前に都市計画道路友井稲田線としても廃止されたため、ただの戦争遺構となりました。



⑤身守東地蔵尊



④なかよし地蔵尊



③出世地蔵尊



②子安延命地蔵尊

向かうと浄雲寺の角に⑥大悲地藏菩薩・大聖不動明王が御堂に収められています。不動明王は秘仏で拝観できなかつたのですが、大悲地藏菩薩を住職のご厚意により撮影させて頂きました。中に4体の地藏石仏がありました。疎開道路を南に行くと⑦立江地蔵尊があります。徳島県小松島市にある四国八十八か所第19番札所立江寺の「子安の地藏」を勧請したようです。F地域内では足代南、御厨栄町にも同様の地蔵尊があります。ここから南東に進み突き当たりを左に向かい、南に進むと児童遊園があります。この下小阪児童遊園から南に入った細い路地に⑧小林地蔵尊があります。大変細い路地を通るので、お参りされる方は地元の方に迷惑がからぬ程度で根気よく探してみてください。



⑨大和公園のラジオ塔



⑧小林地蔵尊



⑦立江地蔵尊



⑥大悲地藏菩薩・大聖不動明王

「ほめて伸ばす」自動車教習所

ヤエドラのインストラクター全員
ほめ達検定合格者!

※日本ほめる達人協会認定

近鉄 八戸ノ里駅から
徒歩 **約5分!**

大阪府公安委員会指定 普通/普通二種/普通二輪/大型二輪/準中型
八戸ノ里ドライビングスクール
やえのさと
0120-831024 〒577-0034 東大阪市御厨南1-4-38
HelloKitty ©1976, 2016 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No.G563708

地下鉄「長田駅」からは
無料
タクシー!

※普通車コースご入学特典

